

令和 2 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号	11
--------	----

担当課	健康課		担当課長	大嶋 昌広		
事業担当者	木下 愛梨		一次評価者	持松 可奈子		
事業区分	継続事業		事務事業評価の履歴	有		
事務事業名	食育事業					
予算科目	4 款 1 項 4 目					
予算事業名	健康教育費					
総合計画での位置づけ (施策名)	健康管理・意識を高める					
事業の性格	自治事務					
法令根拠等	健康増進法、食育推進基本計画					
事業の対象	全住民					
事業の目的	住民の心身の健康増進と豊かな人間性を育むため、住民が食育への関心と理解を深め、ライフステージに応じた健全な食生活が実践されるよう推進する。					
実施期間	開始年度	平成	28	年度から		
	終了年度	令和		年度まで		
事業の内容	乳児期から高齢期までライフステージに応じた食育の推進を図るとともに、九州大学、中村学園大学と連携した健康づくりを実施する。また、久山町研究で明らかになった認知症や生活習慣病予防に関係がある食パターンを健康メニューとして普及する。					
目的達成の指標 (成果指標)	食育事業の参加者数(累計)					
	区分年度	単位	1 年度	2 年度	3 年度	4年度
	目標	人	460	460	460	460
	実績	人	450	403		
指標設定の考え方	家庭および地域における食育事業の推進を図ることが住民の健康増進に寄与すると考えたため。					
計画時の懸案事項	コロナ禍における食育事業を安全に実施するため、感染症対策を講じる必要がある。					
計画時の懸案事項への対応	感染症対策については国の示す手順を参考に可能な限り食育事業を実施する。動画をHPに掲載するなど、教室に参加しなくても情報を得られる環境を整える。					

PLAN(計画)

No.2

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 142 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項	目	1 年度予算	2 年度予算	3 年度予算	4 年度予算
事務量	① 人工数	0.15	0.15	0.15	0.2
	② 人件費単価	7,891	7,652	7,179	7,179
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費(①×②-③)	1,183	1,147	1,076	1,435
事業費	直接事業費	152	160	160	160
	人件費	1,183	1,147	1,076	1,435
	合計	1,335	1,307	1,236	1,595
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	60	36	36	36
	一般財源	1,275	1,271	1,200	1,559
	合計	1,335	1,307	1,236	1,595

事業費計画

(千円)

区分/年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
目標	152	160	160	160	160
実績	149	110			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
乳幼児栄養指導(延べ)	人	340	330	330	330
		333	304		
学童栄養教室参加者(延べ)	人	20	20	20	20
		24	0		
高齢者栄養指導(延べ)	人	50	50	50	50
		50	0		
食育サポーター養成教育(延べ)	人	50	50	50	50
		43	31		
食の情報発信	回	9	6	6	6
		9	9		
食に関連するイベント	回		1	1	1
			2		
健康メニューの普及啓発	回	50	10	10	10
		50	5		

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 137 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項	目	1 年度決算	2 年度予算	2 年度決算	3 年度予算
事務量	① 人工数	0.02	0.15	0.15	0.15
	② 人件費単価	7,891	7,652	7,652	7,179
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費(①×②-③)	157	1,147	1,147	1,076
事業費	直接事業費	149	160	110	160
	人件費	157	1,147	1,147	1,076
	合計	306	1,307	1,257	1,236
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	36	0	36
	一般財源	306	1,271	1,257	1,200
	合計	306	1,307	1,257	1,236

実施備忘録

CHECK(評価)

No.3

自己評価	評価者	木下 愛梨
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

項目	評点	判定
1. そもそも必要な事業か？		
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input checked="" type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている。 ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		B
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		B
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	4	
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	3	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		B
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

<p>今後の方向性</p> <p>A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの</p> <p><input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める)</p> <p><input type="checkbox"/> C見直し</p> <p><input type="checkbox"/> D廃止</p> <p><input type="checkbox"/> E完了</p>	→	<p>C見直しの具体的内容</p> <p><input type="checkbox"/> 実施方法の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 事業の効率化</p> <p><input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化</p> <p><input type="checkbox"/> 事業縮小</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>
---	---	---

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

住民の健康増進に向けた取り組みとして、ライフステージに応じた食育事業の必要性は高く、地域や学校と連携した取り組みが重要であると感じたため。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

- ・食育推進計画に沿った取り組みを行うために、関係機関との連絡会議を行い計画の進捗管理を行う必要がある。
- ・健康メニューの普及は、栄養教室等で行っている。今後は住民全体へ情報発信を行う必要がある。
- ・地域で食育活動を行う食育サポーターを養成しているが、その活動の展開と支援が今後の課題である。
- ・感染症の影響を受けて集団での調理実習が困難になっており、食育活動の方法について検討が必要である。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価	評価者	持松 可奈子
------	-----	--------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

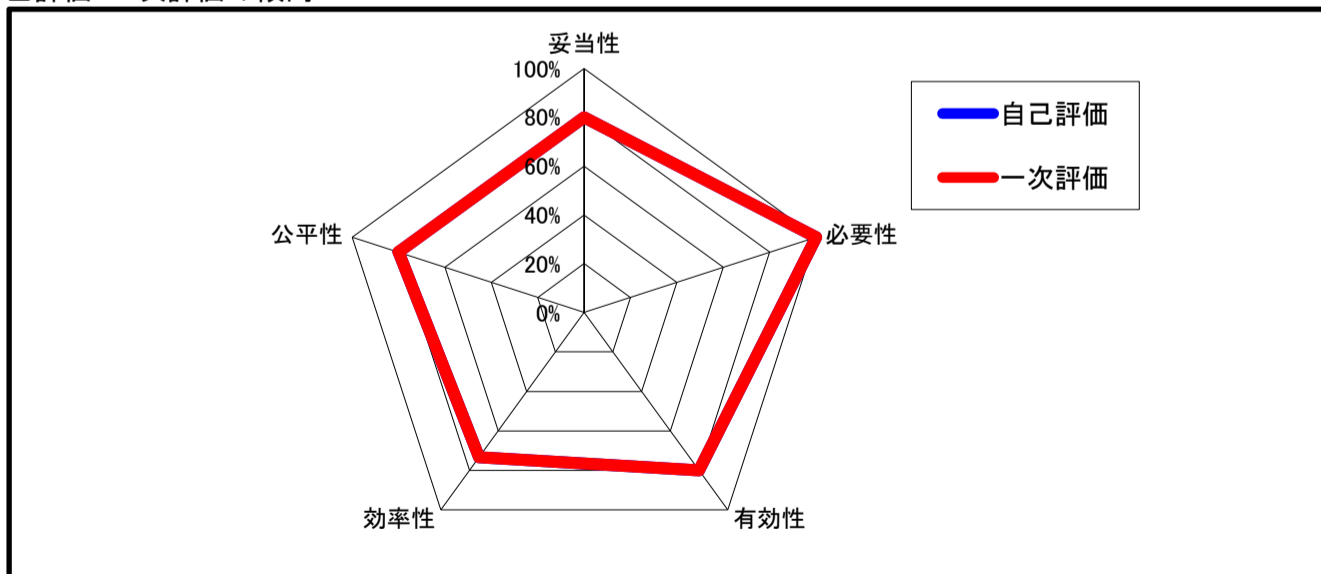
項目	評点	判定
1. そもそも必要な事業か？	4	B
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input checked="" type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている。 ※該当する場合は左の口にチェックしてください。	4	A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	B
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	4	B
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	3	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

今後の方向性	A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの	C見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)		<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input checked="" type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める)		<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> C見直し		<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> D廃止		<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> E完了		<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

令和元年に久山町食育基本計画を策定し、町および関係機関と連携した食育事業を計画的にすすめている。コロナ禍において中止した事業もあるが、栄養教室の手法の工夫や定期的な情報発信、町のホームページに離乳食の動画を配信するなど行っている。
町民の健康増進を図るため、感染症対策を講じながら事業を推進する必要がある。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.5

二次評価

評価者	大嶋 昌広
-----	-------

- A以下の点について良好と評価し、コストを拡充し更なる事業推進を図る。

- B計画どおり、現状のまま事業を継続する。

令和元年に策定された久山町食育基本計画に基づき食育事業を計画的にすすめている。
コロナ禍の中で、感染対策を取りながら定期的な情報発信、動画の配信するなど行っている。町民の健康増進を図るため、必要な事業である。

- C事業継続と判断するが、以下の課題を解決するため計画の見直しを行う。

- D事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会
で評価する。

月 日

開催予定

- E事業の目的を達成し、事業完了したと判断する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり
直し、
月 日
までに提出すること。

- 評価終了
- 外部評価へ

ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。 No.6

外部評価

今後の方向性 A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの 		C見直しの具体的内容 <input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る) <input type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める) <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E完了	→	

評価		外部評価委員の意見
----	--	--

経営者会議

経営者評価	町長
-------	----

今後の方向性 A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの 		C見直しの具体的内容 <input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る) <input type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める) <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E完了	→	

評価		経営者会議の結果
----	--	---

令和 4 年度予算要求事項(今後の取り組み) 	
---	--